

CDS-Liteの主な仕様

1. PC環境・OS	USBコネクタのあるデスクトップ及びノートパソコンに接続可能 通信：USB2.0準拠（外部電源不要。USBハブ使用の場合は外部電源要） CPU：各OSの必要要件に準ずる 言語：日本語版と英語版切替可 Win7の場合、メモリ1GB以上、ハードディスク16GB以上の空領域を推奨 対応OS：Windows10、Windows8、Windows7、WindowsVista、WindowsXP
2. 入力	入力チャンネル数：2ch 最大8システム（8測定）が接続可能 ADC分解能：24bit サブサンプリング間隔：10ms 入力電圧：±1.25V（ソフトウェアで-25mV～+1.25Vにクリッピング） 専用ケーブルを検出器等の0～1Vのインテグレート出力端子、 又はレコーダ端子1mV、10mV、100mVに接続して使用 オートサンプリング等のスタート信号での測定開始が可能 ファイル名が自動ナンバリングされ連続測定が可能
3. 波形処理	波形解析パラメーターによる自動ピークサーチ 処理可能ピーク数500以上、ショルダー・マイナスピークに対応可 タイムプログラムを使用した複雑な波形に対する反応 マウスによる波形処理の会話的修正 差クロマトによるベースライン修正
4. 同定	同定処理ピーク数500以上、絶対保持時間、および相対保持時間による同定、グルーピング、個々のピーク毎に同定モードの指定が可能
5. 定量計算法	単純百分率法（面積、高さそれぞれ）、修正百分率法 絶対検量線法、内部標準法、指数計算法 Rt、濃度、面積、高さ、NTP、ピーク幅、分離度、対称度等の 主要計算項目を自動計算、簡単な計算式の設定が可能
6. 検量線	32ポイントまでの直線、曲線、折れ線による検量線を最小2乗法で計算 決定係数により検量線の妥当性を簡単に評価可能、原点処理を設定可能 検量線をグラフィック表示可能、重み付き検量線作成可能
7. 波形データ	独自に開発されたDFMフォーマットデータファイルにより波形情報、 成分情報メモ、利用者定義可能な付加情報を統一的に管理可能 データ処理に関する諸条件を独自のメソッドファイルへ格納。条件に応じて 分析メソッドを選択可能、データの名称に長いファイル名が使用可能
8. 報告書 作成機能	A4、B4、10インチ連続用紙等が使用可能 マウスで印刷フォーマットを任意に変更可能 波形データを複数（最大8つまで）同時に印刷でき記録紙の節約が可能
9. エクセル CSV出力機能	簡単エクセルボタンによりEXCELとのデータ交換が可能、エクセル以外でも CSV形式（TXT形式）で解析結果、波形情報、波形電圧値を出力可能 複数データをまとめて書き出し可能 クリップボードコピー機能で、波形、計算結果等をペースト可能
10. 標本クロマト 機能	測定時にすでに測定した標準的なクロマト波形を標本クロマトとして 重ねて表示可能
11. ヘルプ機能 ログ機能	HTMLヘルプを採用、状況依存型ヘルプで、F1キーで説明を参照可能。 検索機能により、調べたいキーワード等で検索可能。 エラー等のログを収集し、異常終了などの不測の状態をサポート
12. オプション 機能	インジェクションケーブル機能：連続測定のための情報入力ケーブル機能 AIAデータ交換機能：AIA形式のデータのインポート・エクスポートが可能 濃度集計リスト・トレンドグラフ機能：濃度値を自動リスト、グラフ出力機能 ネットワーク機能：CDSをネットワークで活用するための機能 データベース機能：データベースで測定データを一括管理 テキストコンバータ機能：他機からCSV形式で出力されたデータを読み込み機能 自動ASCIIファイル出力機能：計算値を測定後にファイルに自動出力する機能 GPC機能：GPC解析プログラムで分子量、分子量分布などを計算 タイマーリレー機能：リレーユニットで最大16接点のタイマーコントロール可 分取補助音機能：ピークの傾きによって音を出し、分取のタイミングを補助 ピークスライス機能：ピークを任意の時間でスライスして、面積や濃度を計算 マーカー表示機能：フラコレ等のマーカー信号を取込み画面表示、手動入力可 アナログ入力機能：温湿度センサーなどからの値を記録し書き出す機能
13. ライセンス	システムにはハードウェアADC44の2ch分の使用権（ライセンス）が含ま れてます。ソフトウェアは測定用1台、解析用1台と計2台のパソコンにイ ンストール可能。 増設/バックで使用できるチャンネル数とライセンス数を増設可能。

※ Windows XP/Vista/7/8/10、EXCELは米国マイクロソフト社の商標です。
※ 1台のパソコンにUSBクロマトインターフェイスは4台まで設置可能です。

IAsoft

●当製品へご質問は下記製造元へお気軽にお問い合わせください。

製造発売元 有限会社 エル・エイソフト

〒270-0157 千葉県流山市平和台4-36-24 中島ビル 1F
TEL 04 (7159) 2949 FAX 04 (7158) 8122
Homepage <http://www.lasoft.co.jp/>
Email webmaster@lasoft.co.jp

販売店

IAsoft

Chromato Data System

CDS-Lite ver 5.0

新世代のクロマトデータ処理装置
最大8システムまでの測定が可能



USB接続A/Dコンバーター採用
簡単設置でコンパクトな統合分析環境を実現!

新世代のクロマトデータ処理装置

CDS-Lite ver 5.0



CDS-Lite Ver5.0 は、CDS-plus の機能を絞り、分析によく使われる機能のみを搭載した限定版システムです。

高価なクロマトシステムのユーザーでも、その大半の人がほんの限られた機能しか使っていないという話をよく聞きます。

機能限定版とはいえ、クロマトの測定・分析に必要な十分な機能を搭載しております。またCDS-plusの機能をすべてオプションで追加できます。必要な機能のみ購入できるため、お客様の初期導入コストを驚くほど抑えることができます。他のシステムからの買替えや乗換えをご希望の方はぜひご検討下さい。デモ機無料貸し出し中！

◆自社開発 高い信頼性を誇るA/Dコンバーター



当社開発のクロマトインターフェイスユニットADC44は2チャンネルのA/Dコンバーターとスタートスイッチ、LEDのインターフェイスを供えた大変コンパクトなユニットです。

従来のボードタイプと同様、高い分解能と精度を誇ります。

また、驚くほど低ノイズです。データのサンプリング間隔は100分の1秒に1度という高速度を持っており、1秒以下の幅の狭いピークにも対応できますから、スキャナーやキャピラリーから液クロ、GPCまで広い応用分野で使用できます。

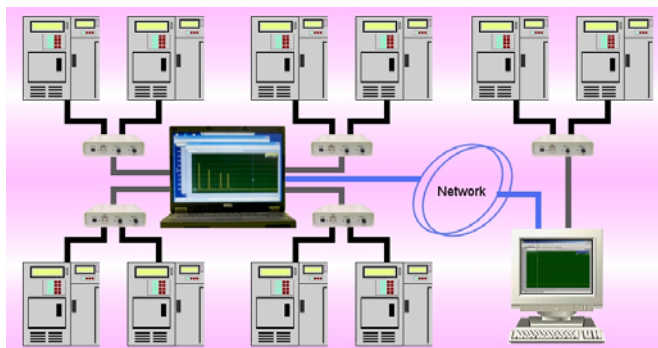
大きさはわずか115mm×120mm×30mmでCDサイズほど、USBポートのあるパソコンならば、どんなパソコンにも接続OKです。デスクトップ、ノート型を問わず、USBケーブル一本でお手持ちのパソコンと簡単に接続することができます。小型で強固な素材のケースを採用しているため携帯も可能です。また、パソコンより電源が供給されるため、わずらわしい電源ケーブルやACアダプタも不要です。



主な特長と機能

◆ 2CH 同期・非同期並行処理、最大8装置接続可能

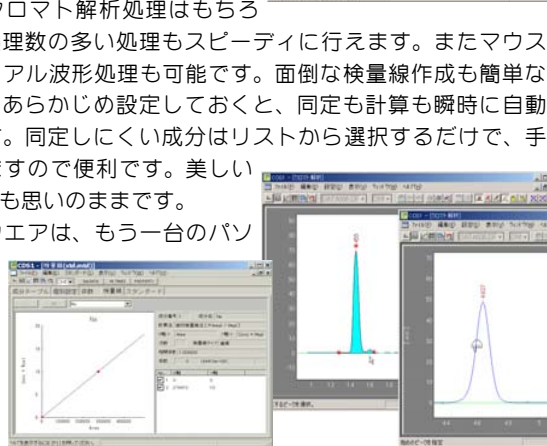
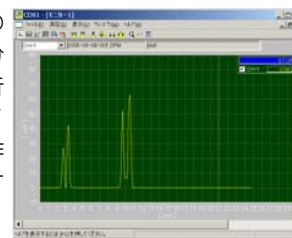
CDSは1台で2chの測定分析が可能です。UVとRI2台の検出器をつなぎ2ch同時に取り込んだり(同期測定)、それぞれ別々のクロマト装置、たとえばHPLCとGC両方つなぎ、別プロセス(非同期)で測定を行うことができます。2種類の分析をするために、システムを2台買う必要がありません。増設パックを使えば、最大4台のADCを接続し、1測定で最大4チャンネルまでの同期測定、最大8つのクロマト装置を接続できます。限られたスペースを使え、コストを大幅に削減します。



◆ 視覚的で親しみやすい操作性、シンプルなソフトウェア

CDSを使用するメリットはその機能のシンプルさにあります。毎日の測定分析作業をできるだけ円滑に効率的に行えるように、ユーザーインターフェイスは工夫されています。直感的な操作性は、はじめての方でも親しみやすく、すぐに分析を開始できます。

基本的なクロマト解析処理はもちろん、複雑で処理数の多い処理もスピーディに行えます。またマウスによるマニュアル波形処理も可能です。面倒な検量線作成も簡単な登録作業で、あらかじめ設定しておく、同定も計算も瞬時に自動的に行います。同定しにくい成分はリストから選択するだけで、手動同定できますので便利です。美しいレポート作成も思いのままです。解析ソフトウェアは、もう一台のパソコンへインストール可能。測定とは別のパソコンで自由に編集できます。

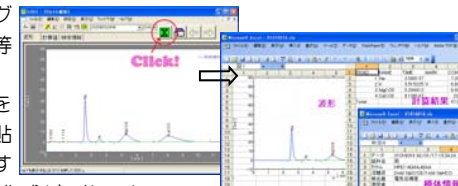


新機能でますます便利に!

◆ 簡単エクセルボタンでエクセルへデータ転送可能

EXCELがセットアップされているパソコンでは画面のデータをボタンひとつで驚くほど簡単にEXCELファイルに変換します。波形、計算値、検体情報、電圧値の生データがエクセルへ転送され、表計算ソフト等で2次利用でき、さまざまな表やグラフ、日報、レポート等を作成できます。

画面の波形や計算値をコピーしてエクセルに貼り付けることもできますので、多彩なレポートの作成が可能です。



Lite版オプション機能 ご利用に合わせてPlusの機能をチョイス!

- **テキストコンバーター機能**
他の分析機器で書出されたCSV、TXT形式のファイル(カンマ区切りのテキストデータ)をCDSに読み込めるインポート機能です。
- **自動アスキーファイル出力機能**
測定結果を測定後に自動的にアスキーファイル(CSV形式、エクセル読み可)へ出力する機能です。
- **インジェクションテーブル機能**
連続測定時のための情報入力テーブル機能です。1検体ごとに1行のテーブル形式で、サンプル情報をまとめて入力できます。
- **マーカー表示機能**
フラクションコレクタより信号を取込み表示する。
- **AIAフォーマット変換機能**
AIAフォーマットへのインポート、エクスポート機能です。他メーカーのクロマトデータ処理機とのデータ互換が可能です。
- **濃度集計リスト・トレンドグラフ機能**
測定した濃度計算値を自動書き込みし、リストへ追記表示します。また各成分ごとのトレンドグラフを表示します。
- **ネットワーク機能**
ネットワーク越しにCDSを使用するための機能です。
- **データベース機能**
データをネットワーク環境で共有し、活用するための機能です。測定情報や結果をDBで集中的に管理することができます。
- **タイマーリレー機能**
増設リレーユニットを接続し、最大16点のタイマーをコントロールができます。リレー接点でバルブなどのクロマト機器を制御できます。
- **GPC処理機能**
分子量分布および平均分子量などを求めることができます。GPC検量線(軟正曲線)の作成、分子量分布曲線、平均分子量の計算、結果印刷など。
- **分取補助音機能**
波形の傾きにより音をだし、分取位置がわかりやすくなる補助音機能。
- **ピークスライス機能**
指定の時間でピークをスライスして、範囲ごとに面積や濃度を計算。
- **マーカー表示機能**
フラクションのマーカー信号を取得し表示する機能です。
- **アナログ入力機能**
温湿度センサー等から測定開始時の値を記録して、書き出す機能です。

◆ プログラムの改造・特殊機能追加も承ります。

特殊な測定やこんな機能があったら便利だな...といったご要望にはご予算に合わせて有料でプログラムの改造を承ります。お気軽にご相談ください。